

# 事業概況

2017年3月期第2四半期

決算説明会

2016年11月9日



代表取締役社長 川名浩一

## 目次

1. マーケット環境	P.3
2. 上半期の受注実績	P.4
3. 足下の受注状況	P.5
4. 下半期の注力案件	P.6
5. 新中期経営計画の進捗	P.7
6. 環境対応の事業活動	P.8

## 1.マーケット環境

### プラントマーケットの復活に手応え

- 原油価格復調の兆し
- 産油国国営石油会社による設備投資復活
- 案件数増加・案件規模拡大
- 非LNG案件中心（石油精製、ガス処理、石油化学）

### マーケットは2015年度が底、2016年度から拡大へ

※中小型LNG案件に動きあり、メガLNG案件は客先FIDを引き続き注視

## 2.上半期の受注実績

通期受注目標：6,000億円

上半期受注金額：1,548億円



### 3. 足下の受注状況

	受注額	内訳
上半期受注	1,548億円	前頁の通り
10月1日以降受注	400億円強	バーレーン ガス処理 カナダ LNG (FEED) 国内 バイオマス発電、など
<b>足下受注</b>	<b>約2,000億円</b>	
契約交渉中/ 客先FID*決定待ち <small>*FID:最終投資決定</small>	約3,000億円	アルジェリア ガス処理 国内 化学 モザンビーク FLNG インドネシア ガス処理 インドネシア LNG受入
<b>合計</b>	<b>約5,000億円</b>	

**5,000億円台の受注が視野に**

### 4. 下半期の注力案件



**受注目標6,000億円達成に向けて全力**

## 5.新中期経営計画の進捗

### 大規模組織改革実施、着実に施策実行

(オイル&ガス、インフラの2大統括本部制へ)

#### ➤ インフラ事業領域への拡大 ー発電分野に本格進出ー

- ①フィリピン 火力発電所受注
- ②日本 バイオマス発電事業、並びにEPC受注

#### ➤ 技術優位性を発揮 ー新ビジネスを開拓ー

- ①ビッグ・データソリューションビジネス
  - ・ Airlize LNG
  - ・ 製油所向けのO&M
- ②BOG (Boil off Gas) の開発
  - ・ LNGタンクからの放散ガスのエネルギー活用



事業概況 2017年3月期第2四半期 決算説明会

7/9

## 6.環境対応の事業活動

### CO2マネジメントに注力

#### CO2分離・回収技術開発

##### CO2分離プロセス開発

日本ガイシと共同で天然ガスから効率的にCO2を分離する新技術を開発

##### HiPACT

BASF社と共同開発のCO2分離・回収技術の営業活動を展開

#### CCSプロジェクト実績

- ✓ アルジェリア・インサラーガス
- ✓ 苫小牧 CCS実証設備

#### 再生可能エネルギー事業

- ✓ 国内 太陽光発電事業 (2件)、バイオマス発電事業
- ✓ スペイン 太陽熱発電事業



事業概況 2017年3月期第2四半期 決算説明会

8/9

## 将来の見通しに関するご注意事項

本資料にて開示されているデータや将来予測は、本資料の発表日現在の判断や入手可能な情報に基づくもので、種々の要因により変化することがあり、これらの目標や予想の達成、および将来の業績を保証するものではありません。またこれらの情報が、今後予告なしに変更されることがあります。

従いまして、本情報および資料のご利用は、他の方法により入手された情報とも照合・確認し、ご利用者の判断によって行ってくださいますようお願いいたします。

本資料ご利用の結果、生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

本資料に関するお問い合わせ先  
日揮株式会社 経営統括本部 広報・IR部  
Tel:045-682-8026 Fax:045-682-1112  
E-mail: ir@jgc.com